

レジデンシャル事業（Noism Company Niigata）評価書

【期 間】 評価期間はNoismのシーズン（秋～夏）とする ※19 t hシーズン：R 4年9月～R 5年8月

【評 価】 A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）
※ 18 t hシーズン（市による評価）と同じ

事業・活動	指標（アウトカム発現の裏付）	19th実績	自己評価	財団・市・外部有識者意見
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism 2 他 【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」が盛んに行われている	1：NoismO, 1, 2新潟公演企画数【3企画以上／年】	3企画	B	【財団】 19 t hシーズンは「Der Wandererーさすらい人」をスタジオB、「領域」「Noism2定期公演＋Noism1メンバー振付公演」を劇場で開催した。指標8は公演解説を伴うアフタートークを振付家を招く等して各公演で複数回開催し「どんな風に踊りを作っているかを知れて知識が深まった」等の声がアンケートに寄せられたためA評価とした。指標9の他団体との連携は東京都等が主催したSaLaD音楽祭、公益社団法人日本バレエ協会が主催した全国合同バレエのタベ2023等に出演、また新潟東高校から依頼を受け同高校向けの貸し切り公演を開催（来場者830名）し指標を上回る5回のためA評価とした。全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成している。指標8・9は要求水準を上回って実施している。 なお、指標5は、レジデンシャル制度目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」の成果を図る有効な指標であり、一部公演分の指標のみの計測となっている点については、今後確実に計測できるように改善をお願いしたい。 【外部有識者】 評価は妥当である。
	2：NoismO, 1, 2新潟公演の来場者数 【3,235人以上／年】	3,299人	B	
	3：NoismO, 1, 2新潟公演の満足度 【95%以上】	96.5%	B	
	4：NoismO, 1, 2県外公演企画数【2企画以上／年】	2企画	B	
	5：NoismO, 1, 2新潟＆県外公演の新規来場者率【10%以上】	26% ※ 県外1企画分のみの計測に付、参考値	---	
	6：柳都会実施数【2回以上／年】	2回	B	
	7：金森穰氏（Noism芸術総監督）以外の振付家の招聘【1回以上／年】	1回	B	
	8：レクチャー系講座実施【3回以上/年】 ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む	8回	A	
社会包摂系 ・他団体依頼公演等（再掲） ・アウトリーチ ・ワークショップ&オープンクラス 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	10：小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上／年】	22回	A	【財団】 地域活動部門を創設して最初のシーズン。市内小学校から募集をしたアウトリーチは非常に好評で指標の倍以上の22回（参加数は2,407名）を数えたため指標10はA評価とした。ワークショップも子育て施設等から多くの依頼があり、指標の5倍を超える17回のため指標11はA評価とした。アウトリーチでは子供が参加できる体験コーナーを設け多くの子供達が積極的に参加、98%と非常に高い満足度であり指標12はA評価とした。 【市】 すべての指標で大幅に要求水準を超えている。アウトリーチやワークショップの回数増が職員やダンサー等に過度な負担とならないよう、引き続き配慮いただきたい。 【外部有識者】 評価は妥当である。
	11：ワークショップ実施数【3回以上／年】	17回	A	
	12：アウトリーチ参加者満足度【95%以上】	98%	A	
生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	13：スクール実施数【2企画以上／年】	2企画	B	【財団】 スクールは「サマースクール」「ワンデイスクール」、オープンクラスは「バレエ」「レパートリー」等を実施した。いずれも年齢・対象（初心者、経験者）の異なる様々なクラスを用意、幅広い受講生にきめ細やかに対応し、指標15の満足度は100%と非常に高くA評価とした。Noismの活動を資金面で支援する活動支援会員（公演チケットの割引等の対価性あり）は100名を超えているが、その半数超が市民であり指標値を2割近く上回っていることから指標17はA評価とした。対価性のない寄付会員も指標値を2割ほど上回っており指標18もA評価とした。社会包摂系事業と合わせてC評価はなく、全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 各指標で要求水準を達成しており、半数近くの指標がA評価となっている。
	14：オープンクラス実施数【3企画以上／年】 ※一般市民向け（バレエ・からだ大人・からだ子供・レパートリー等）	3企画	B	
	15：オープンクラス参加者満足度【95%以上】	100%	A	
	16：活動支援会員数【103人以上／年】	109人	B	

生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 前頁記載のとおり	17：16のうち、市内在住者数【48人以上／年】	57人	A	【外部有識者】 評価は妥当である。
	18：寄付会員数【21人以上／年】	26人	A	
	19：18のうち、市内在住者数【11人以上／年】	11人	B	
文化度向上系 同上 【アウトカム(最終)】 芸術文化が「まちづくり（観光・国際交流・経済等）」に寄与している	【再掲】 4：NoismO,1,2県外公演数【2回以上／年】	2回	B	【財団】 コロナ禍の影響が未だ残る中、指標20は指標値を5%以上も上回ったためA評価とした。全体としてC評価はなく、【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカ
	【再掲】 9：他団体との連携企画数（共催・受託等）【3回以上／年】	5回	A	【市】 各指標で要求水準を達成している。新潟公演の市外者来場率は評価指標の1.5倍となっている。
	20：新潟公演の市外者来場率【10%以上】	16.8%	A	【外部有識者】 評価は妥当である。

総合所見		
財団（自己評価）	新潟市（意見）	外部有識者（意見）
Noism Company Niigataとして、国際活動部門と地域活動部門を新設し、体制を一新した最初のシーズンとなった。 国際活動部門は、一人ひとりがソロで立てるだけの力量を有した個人の集合としての集団をめざした新作『Der Wandererーさすらい人』は“カンパニーのこれからを期待させる分岐点に相應しい作品”、ダンスカンパニーカレイドスコープを率いる二見一幸氏を迎えての「領域」は“静と動の巧みな表現、かつ根底で呼応しあう2作品”と評され、ともに好評を博した。黒部シアター2023春（富山県）での野外公演、ここ数年共演を重ねる東京都交響楽団との公演など各種活動を行った。 地域活動部門は、各所からの依頼に應えて今までにならぬ回数の活動を行った。ワークショップは子供だけでなく、視覚・聴覚・知的など様々な障がいのある方を対象とし、障がい者向けワークショップは合計で63名の方が参加した。スクールは受講生同士が交流し刺激し合う場となっている。ただ予算や人員増が見込めないなか、活動を広げていくのも限界があり、現状の体制のまま継続していく難しさも感じている。 活動支援会員による支援金は約440万円、寄付会員による寄付金は約70万円にのぼり市民等に支持される舞踊団の証左となっている。	レジデンシャル制度の目標①「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンスの向上」については、新潟公演の鑑賞者満足度をはじめ、新潟公演の市外者来場率など複数の指標で要求水準に達しており、質の高い舞台芸術作品の創造・発信を通して目標①を実践できていると評価する。 同目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」に関連して、アウトリーチやワークショップ、スクール及びオープンクラス、レクチャー系講座実施などで要求水準を上回って実施している。 また、小中学生向けのアウトリーチは、質の高いパフォーマンスを通じて舞台芸術の素晴らしさを普及するとともに、将来的な新たな鑑賞者を開拓する側面をもっており、演者と鑑賞者の相互の感性が行き交う場として評価したい。 特に、新潟東高校からの依頼について、柔軟に対応して貸切公演を行い、りゅーとびあやNoismに触れる機会が少ないと思われる高校生に向けて鑑賞機会を提供したことは、アーティストが本市に居住するレジデンシャルならではの交流・連携であり、高く評価する。 指標5については、個別意見欄と重複するが本目標②の成果を図る有効な指標であることから、確実に計測できるよう改善を求められたい。 同目標③「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取組みの波及」については、これまでの国内他館との協力関係の構築や舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用に取組んできた成果として、県外公演企画数や他団体との連携企画数などが要求水準に達していることを評価する。 今後も、文化事業における限られた経営資源の中で、りゅーとびあ事業全体でのバランスを図りながら、持続可能な経営を目指していかれたい。	・予算人員が変わらなるとすると、毎年同じような評価を単にルーティンとして繰り返していくだけに終わってしまう。それではもったいない。 ・指標をこなすことが目的にならないか心配。 ・満足度系の指標を増やした方が良いのではないかと。 ・指標としてアプトブットが並ぶと、やることリストになってしまう。アウトカムを測る指標があっても良いのではないかと。 ・実績値が、ダンサー、スタッフへ過度な負担になっているのではないかと心配。 ・アフタートーク可能な限り見ているが、出演者の熱量が高い。 ・社会包摂系はいい取り組みだが、拡大するためには市のバックアップが必要ではないかと。 ・数値指標に「以上」は不要ではないか。数値に達すればA評価、達しなくてもニアリーならA評価でいいのではないかと。経年変化、公演数、ツアー箇所数も評価すべき。 ・ワークショップ、回数だけでなく内容を評価すべき。 以下参考意見（本評価書とは直接関係しない意見） ・クラウドファンディング、文化庁補助金の獲得は、大変な作業だったと想像する。 ・劇場専属舞踊団が20周年を迎えること、文化庁補助金の12館に選ばれること、これはすごいことなので20周年記念の本をプロの編集者を入れて出版してはどうか。 ・アウトカム達成には、市の文化政策が必要。Noismだけでなく、市山流、総踊りもあるのだから、市として「踊り文化の振興計画（社会包摂の取り組みを含む）」を立てるべきではないかと。 ・Noismは新潟にとっての宝。新潟で活動して創造した芸術作品は、映像や舞踊譜のかたちでアーカイブしていくことが必要ではないかと。



総合評価（事業評価）
レジデンシャル制度目標①・方針① （対応する事業・活動：上表「文化度向上系」） ・すべての指標（指標1,2,3,4,5,6,7,8,9,20）で要求水準を達成しており、方針①「質の高い舞台芸術作品の創造・発信」「本市独自の多様な文化を活用」を実践し、目標①「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンス向上」につながっている。特に、新潟東高校貸切公演実現等の各種取り組みは、レジデンシャル制度の意義を踏まえたうえで、限られた経営資源の中で柔軟性をもった事業運営を行うことで実現を図っている。次期シーズンも要求水準を達成できるよう努めたい。なお、「満足度系の指標を増やした方が良いのでは」等の外部有識者意見にも十分留意のうえ、成果を適切に測定するために指標の見直しも含めて検討する。
レジデンシャル制度目標②・方針② （対応する事業・活動：上表「社会包摂系」「生きがい創出系」） ・すべての指標（10,11,12,13,14,15,16,17,18,19）で要求水準に達しており、方針②「市民や地元の様々な団体等との交流・連携」「舞台芸術の普及・啓発・人材の育成」を実践し、目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」につながっている。特に、東高校からの依頼に対応した特別公演では、新たな鑑賞者の増加ももたらし、アウトリーチやワークショップ、オープンクラスを積極的に実施し、満足度も高く目標を実践できている。次期シーズンも限られた経営資源の中でバランスを図りながら、「ダンサー、スタッフへ過度な負担になっているのではないかと」等の外部有識者意見にも十分留意のうえ、要求水準を達成できるよう努めたい。なお、評価会議のオブザーバーであるアーツカウンシル新潟の意見「Noismを退団・卒団された方々が新潟に定着し、新潟の舞踊文化を活性化する文化的な環境整備も必要ではないかと」は、目標②につながる将来的な取り組みとして考えたい。
レジデンシャル制度目標③・方針③ （対応する事業・活動：上表「文化度向上系」） ・すべて指標で要求水準に達しており、方針③「国内他館との協力関係の構築」「舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用」を実践し、目標③「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及」の実現に向けて着実に前進している。レジデンシャル制度の意義、他団体との連携・強力関係の強化を目指しながら、次期シーズンも要求水準（指標見直しも検討）を達成できるよう努めたい。